

平成15・16年度 厚生労働科学研究
「障害者（児）の地域移行に関連させた身体障害・
知的障害関係施設の体系的なあり方に関する研究」
**【重複障害者の施設ケアに関する
実態と課題把握のための調査】**
(平成15年度分 中間報告書)

発行日：平成16年3月10日

発行者：重複障害分野 分担研究者

山内 進 (社会福祉法人光道園 園長)

発行所：〒916-8585

福井県鯖江市和田町9-1-1

社会福祉法人 光道園気付

厚生労働科学研究 重複障害分野研究体制事務局

TEL:0778-62-1234(代) FAX:0778-62-0890

印刷所：(株) 齋藤印刷

基本調査一式

(全 施 設 共 通 調 査 様 式)

重複障害者施設とその利用者の実態調査研究

(1) 調査概要

(イ) 目的

厚生労働科学研究に伴う、盲重複障害者・ろう重複障害者を専門的に受け入れ支援している福祉施設の実態を把握することにより、それらの人達の施設生活・地域生活の支援の在り方を研究検討する。

(ロ) 対象

重複障害者の中でも、感覚機能障害に知的障害等の重複した障害を持ちあわせ、地域での自立生活が困難なため、各々の法人の理念と主体性により、重複障害専門的福祉施設を設置し、ここを利用している次の施設および、その利用者を対象とする。

①全国盲重複障害者福祉施設研究協議会加盟施設 27 施設

②全国ろう重複障害者施設連絡協議会加盟施設 25 施設

(上記の内、無認可施設は別調査とする)

(ハ) 時期 調査依頼：平成 15 年 11 月

調査回収：平成 16 年 1 月 15 日 (修正完了 2 月 9 日)

調査集計：平成 16 年 2 月 10 日～

(ニ) 方法 全施設を対象とする基礎調査

全国盲重複障害者施設関係 (有効資料 26 施設)

全国ろう重複障害者施設関係 (有効資料 12 施設)

(ホ) 実態調査結果 (中間分析)

集計は、原則として「盲重複障害分野」、「ろう重複障害分野」ごとに行った。

(2) 施設の状況

(イ) 専門的施設の分布状況 (都道府県)

(ロ) 居住環境 (居室) の状況 (個室・二人部屋・三人部屋・四人部屋・五人以上)

(ハ) 盲重複障害・ろう重複障害者に配慮した設備 (項目列記)

(3) 利用者の状況

(イ) 盲重複障害・ろう重複障害者の施設利用者総数 (総数・男女別数・年齢構成等)

(ロ) 施設利用者の施設利用期間

(ハ) 利用者の出身区域の分析 (施設立地市町村・隣接市町村・県内・県外等)

(ニ) 利用者の障害手帳・療育手帳等級状況

(ホ) 利用者の障害状況 (重複障害状況の分布)

(ヘ) 利用者の就学 (教育) 状況

(ト) 利用者の就労経験状況

(チ) 過去の退所者の状況 (年間数・退所後行き先)

(リ) 施設入所待機者 (総数・施設種別数・障害種別・現在の地域・居住状況等)

(ヌ) 利用者の情報獲得手段 (手法) の分析 (項目集計)

(ル) 利用者のコミュニケーション方法の分析 (項目集計)

(4) 調査表の原本 (次ページ参照)

「重複障害者施設機能の体系見直しに関する検討会」実態調査

I 施設プロフィール ※各種別施設ごとにご記入下さい。

1 施設名 _____ 記入者 _____

所在地	郵便番号			
	住所			
	TEL		FAX	
	E-mail		HomePage	

2 該当施設種別(該当種別を○で囲んで下さい)

- ア) 肢体更生 イ) 視覚更生 ウ) 聴覚言語更生 エ) 内部更生 オ) 重度更生
 カ) 身障療護 キ) 身障授産 ク) 身障授産(旧 重度) ケ) 身障通所授産
 コ) 知的更生(入所) シ) 知的更生(通所) サ) 知的授産(入所) シ) 知的授産(通所)
 ス) 通勤寮 セ) その他の施設種別()

3 利用人員(平成15年4月1日の状況) 数式が入っています。自動計算

(1) 年齢・性別の状況

単位：人

年齢	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳以上	計	平均年齢
性別										
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
比率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#####	#####	#####	0.0%	

(2) 在所期間の状況

期間	1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	計	平均在所期間(年)
性別								
男	0	0	0	0	0	0	0	年 ヶ月
女	0	0	0	0	0	0	0	年 ヶ月
計	0	0	0	0	0	0	0	年 ヶ月
比率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#####	0.0%	

施設名	
-----	--

2 職員の配置状況

1 職員配置

	施設長	事務長	事務員	主任指導員	指導員	寮母	介助員	作業指導員	宿直専任員	医師	看護師	栄養士	調理員				
基準																	
(非常勤)																	
現員																	
(非常勤)																	

数式が入っています。自動計算

2 専門職員の配置

		単位:人	備考 参考となる事項
ろう重複施設	手話通訳士(都道府県・政令指定都市認定通訳者含む)		
	聴覚言語障害職員		
	その他(
盲重複施設	歩行訓練士		
	ピアカウンセラー		
	その他(

【調査 I】 盲重複・ろう重複障害者施設調査及び、利用者個別状況調査記入シート《施設名》

施設名(フリガナ)		(基本的事項)										(障害状況)										(労働状況)										(支援計画)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		1 名称	2 所在地	3 法人	4 代表者	5 設立年月	6 事業内容	7 事業種別	8 事業形態	9 事業規模	10 事業計画	11 事業の目的	12 事業の特色	13 事業の課題	14 事業の展望	15 事業の成果	16 事業の課題	17 事業の展望	18 事業の成果	19 事業の課題	20 事業の展望	21 事業の成果	22 事業の課題	23 事業の展望	24 事業の成果	25 事業の課題	26 事業の展望	27 事業の成果	28 事業の課題	29 事業の展望	30 事業の成果	31 事業の課題	32 事業の展望	33 事業の成果	34 事業の課題	35 事業の展望	36 事業の成果	37 事業の課題	38 事業の展望	39 事業の成果	40 事業の課題																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
記入方法は別紙		1. 名称										2. 所在地										3. 法人										4. 代表者										5. 設立年月										6. 事業内容										7. 事業種別										8. 事業形態										9. 事業規模										10. 事業計画										11. 事業の目的										12. 事業の特色										13. 事業の課題										14. 事業の展望										15. 事業の成果										16. 事業の課題										17. 事業の展望										18. 事業の成果										19. 事業の課題										20. 事業の展望										21. 事業の成果										22. 事業の課題										23. 事業の展望										24. 事業の成果										25. 事業の課題										26. 事業の展望										27. 事業の成果										28. 事業の課題										29. 事業の展望										30. 事業の成果										31. 事業の課題										32. 事業の展望										33. 事業の成果										34. 事業の課題										35. 事業の展望										36. 事業の成果										37. 事業の課題										38. 事業の展望										39. 事業の成果										40. 事業の課題									
		11. 事業の目的										12. 事業の特色										13. 事業の課題										14. 事業の展望										15. 事業の成果										16. 事業の課題										17. 事業の展望										18. 事業の成果										19. 事業の課題										20. 事業の展望										21. 事業の成果										22. 事業の課題										23. 事業の展望										24. 事業の成果										25. 事業の課題										26. 事業の展望										27. 事業の成果										28. 事業の課題										29. 事業の展望										30. 事業の成果										31. 事業の課題										32. 事業の展望										33. 事業の成果										34. 事業の課題										35. 事業の展望										36. 事業の成果										37. 事業の課題										38. 事業の展望										39. 事業の成果										40. 事業の課題																																																																																																													
		16. 事業の課題										17. 事業の展望										18. 事業の成果										19. 事業の課題										20. 事業の展望										21. 事業の成果										22. 事業の課題										23. 事業の展望										24. 事業の成果										25. 事業の課題										26. 事業の展望										27. 事業の成果										28. 事業の課題										29. 事業の展望										30. 事業の成果										31. 事業の課題										32. 事業の展望										33. 事業の成果										34. 事業の課題										35. 事業の展望										36. 事業の成果										37. 事業の課題										38. 事業の展望										39. 事業の成果										40. 事業の課題																																																																																																																																																															
		21. 事業の成果										22. 事業の課題										23. 事業の展望										24. 事業の成果										25. 事業の課題										26. 事業の展望										27. 事業の成果										28. 事業の課題										29. 事業の展望										30. 事業の成果										31. 事業の課題										32. 事業の展望										33. 事業の成果										34. 事業の課題										35. 事業の展望										36. 事業の成果										37. 事業の課題										38. 事業の展望										39. 事業の成果										40. 事業の課題																																																																																																																																																																																																																	

施設名		施設種別		記入者	
住所	〒	TEL			
		FAX			
		Mail			

【調査Ⅱ】 障害程度区分調査

利用者の各平均点を記入して下さい。(03.11.01.現在)

		身障授産入所	身障更生入所	身障療護	知的更生入所	知的授産入所
支 援 項 目	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	31					
	32					
	33					
	34					
	35					
	36					
	37					
	38					
	39					
	40					
	41					
	42					
	43					
	44					
	45					
	46					
	47					
	48					
	49					
合計平均点						

障害程度区分 調査結果	A の 合計 人数	B の 合計 人数	C の 合計 人数	合計
施設種別				
身障授産入所				
身障更生入所				
身障療護				
知的更生入所				
知的授産入所				

※) 合計平均点 = 利用者全得点合計 ÷ 利用者数 ÷ 項目数

【調査Ⅲ】 各施設関係の調査《施設名》

(1) 盲重複・ろう重複障害に対する「配慮した設備」について列挙して下さい。

設 備 の 状 況	

(2) 過去3年の退所状況

年 度		平成12年度	平成13年度	平成14年度
退 所 人 数 合 計		名	名	名
主 な 行 き 先	社会自立(就業も含めて)	名	名	名
	同列の他施設へ転移	名	名	名
	療護施設等に転移	名	名	名
	老人施設へ転移	名	名	名
	自宅	名	名	名
	死亡	名	名	名
	その他	名	名	名

【調査IV】 重複障害者の状況表《施設名》

☆単独障害

		男	女	計
1	肢体不自由			0
2	視覚障害			0
3	聴覚・平衡機能障害			0
4	内部障害			0
5	知的障害			0
6	音声・言語・そしゃく機能障害			0
合計		0	0	0

☆二重複障害

		男	女	計
7	肢+視			0
8	肢+聴			0
9	肢+内			0
10	肢+知			0
11	肢+音			0
12	肢+精			0
13	視+聴			0
14	視+内			0
15	視+知			0
16	視+音			0
17	視+精			0
18	聴+内			0
19	聴+知			0
20	聴+音			0
21	聴+精			0
22	内+知			0
23	内+音			0
24	内+精			0
25	知+音			0
26	知+精			0
27	音+精			0
合計		0	0	0

☆五重複障害

		男	女	計
96	肢+視+聴+内+知			0
97	肢+視+聴+内+音			0
98	肢+視+聴+内+精			0
99	肢+視+聴+知+音			0
100	肢+視+聴+知+精			0
101	肢+視+聴+音+精			0
102	肢+視+内+知+音			0
103	肢+視+内+知+精			0
104	肢+視+内+音+精			0
105	肢+視+知+音+精			0
106	肢+聴+内+知+音			0
107	肢+聴+内+知+精			0
108	肢+聴+内+音+精			0
109	肢+内+知+音+精			0
110	視+聴+内+知+音			0
111	視+聴+内+知+精			0
112	視+内+知+音+精			0
合計		0	0	0

☆三重複障害

		男	女	計
28	肢+視+聴			0
29	肢+視+内			0
30	肢+視+知			0
31	肢+視+音			0
32	肢+視+精			0
33	肢+聴+内			0
34	肢+聴+知			0
35	肢+聴+音			0
36	肢+聴+精			0
37	肢+内+知			0
38	肢+内+音			0
39	肢+内+精			0
40	肢+知+音			0
41	肢+知+精			0
42	肢+音+精			0
43	視+聴+内			0
44	視+聴+知			0
45	視+聴+音			0
46	視+聴+精			0
47	視+内+知			0
48	視+内+音			0
49	視+内+精			0
50	視+知+音			0
51	視+知+精			0
52	視+音+精			0
53	聴+内+知			0
54	聴+内+音			0
55	聴+内+精			0
56	聴+知+音			0
57	聴+知+精			0
58	聴+音+精			0
59	内+知+音			0
60	内+知+精			0
61	内+音+精			0
62	知+音+精			0
合計		0	0	0

☆六重複障害

		男	女	計
113	肢+視+聴+内+知+音			0
114	肢+視+聴+内+知+精			0
115	肢+視+聴+内+音+精			0
116	肢+視+聴+知+音+精			0
117	肢+視+内+知+音+精			0
118	肢+聴+内+知+音+精			0
119	視+聴+内+知+音+精			0
合計		0	0	0

☆七重複障害

		男	女	計
120	肢+視+聴+内+知+音+精			0
合計		0	0	0

☆四重複障害

		男	女	計
63	肢+視+聴+内			0
64	肢+視+聴+知			0
65	肢+視+聴+音			0
66	肢+視+聴+精			0
67	肢+視+内+知			0
68	肢+視+内+音			0
69	肢+視+内+精			0
70	肢+視+知+音			0
71	肢+視+知+精			0
72	肢+視+音+精			0
73	肢+聴+内+知			0
74	肢+聴+内+音			0
75	肢+聴+内+精			0
76	肢+聴+知+音			0
77	肢+聴+知+精			0
78	肢+聴+音+精			0
79	肢+内+知+音			0
80	肢+内+知+精			0
81	肢+内+音+精			0
82	肢+知+音+精			0
83	視+聴+内+知			0
84	視+聴+内+音			0
85	視+聴+内+精			0
86	視+聴+知+音			0
87	視+聴+知+精			0
88	視+聴+音+精			0
89	視+内+知+音			0
90	視+内+知+精			0
91	視+知+音+精			0
92	聴+内+知+音			0
93	聴+内+知+精			0
94	聴+知+音+精			0
95	内+知+音+精			0
合計		0	0	0

重複度	盲重複障害	ろう重複障害	合計
二重	名	名	0名
	%	%	%
三重	名	名	0名
	%	%	%
四重	名	名	0名
	%	%	%
五重	名	名	0名
	%	%	%
六重	名	名	0名
	%	%	%
七重	名	名	0名
	%	%	%
総合計	名	名	0名
	%	%	%

平成15・16年度 厚生労働科学研究
「障害者（児）の地域移行に関連させた身体障害・
知的障害関係施設の体系的なあり方に関する研究」
【重複障害者の施設ケアに関する
実態と課題把握のための調査】
(平成15年度分 中間報告書)

発行日：平成16年3月10日

発行者：重複障害分野 分担研究者

山内 進（社会福祉法人光道園 園長）

発行所：〒916-8585

福井県鯖江市和田町9-1-1

社会福祉法人 光道園気付

厚生労働科学研究 重複障害分野研究体制事務局

TEL:0778-62-1234(代) FAX:0778-62-0890

印刷所：(株) 斎藤印刷

共同研究調査書式及び、集計

(共同研究施設のみ調査様式)

【調査V-A】重複障害者の自己活動における支援度チェック

施設名	調査日	平成 年 月 日	利用者調査No.
	利用者		調査者

事例:目的活動【買物】

行動段階	支援チェック項目	支援度 チェック	支援に係わる状態
計画段階	①購入品の計画性 (何を購入したいのか)	支援なし	
		一部支援	
		全面支援	
	②購入日、購入先、行動等計画性 (いつ、どこで、だれに、どうして)	支援なし	
		一部支援	
		全面支援	
	③金銭の計画性 (幾ら位の商品、持ち金は)	支援なし	
		一部支援	
		全面支援	
	④容姿の計画性 (服装、身嗜み等)	支援なし	
		一部支援	
		全面支援	
移動	⑤歩行、交通機関の利用 (目的地移動、交通機関利用等)	支援なし	
		一部支援	
		全面支援	
購入	⑥店内の移動 (販売場所の確認と移動)	支援なし	
		一部支援	
		全面支援	
	⑦購入品の選定 (目的品の発見、決定)	支援なし	
		一部支援	
		全面支援	
⑧支払い (金銭の把握と精算)	支援なし		
	一部支援		
	全面支援		
生活利用	⑨帰宅後の後始末 (服装、手持金確認、整理等)	支援なし	
		一部支援	
		全面支援	
	⑩購入品の生活利用 (実用的な使用が可能か)	支援なし	
		一部支援	
		全面支援	
特記 及び 評価等			

【調査V-B】 重複障害者の自己活動における支援度チェック

施設名	調査日	平成 年 月 日	利用者調査No.
	利用者		調査者

事例: 目的活動【通院】

行動段階	支援チェック項目	支援度 チェック	支援に係わる状態
計画段階	①身体の変調を意識できるか (各部位の理解ができていますか)	支援なし	
		一部支援	
		全面支援	
	②具合の悪いことを誰かに伝える (いつ、どこで、だれに、どうして)	支援なし	
		一部支援	
		全面支援	
	③病院に行く等、指示を理解する (病院、静養、待機の意味を理解)	支援なし	
		一部支援	
		全面支援	
	④通院の準備等の計画性 (金銭、手帳、保険証、身嗜み等)	支援なし	
		一部支援	
		全面支援	
移動	⑤軽度時、歩行、交通機関の利用 (目的地移動、交通機関利用等)	支援なし	
		一部支援	
		全面支援	
病院内	⑥病院内の移動と待機 (受付等場所確認と移動・待機)	支援なし	
		一部支援	
		全面支援	
	⑦診察時の反応 (診察時の受け答えと理解)	支援なし	
		一部支援	
		全面支援	
⑧支払い (金銭の把握と精算、薬の理解)	支援なし		
	一部支援		
	全面支援		
生活管理	⑨帰宅後の後始末 (服装、手持金確認、整理等)	支援なし	
		一部支援	
		全面支援	
	⑩服薬、治療、回復への理解 (計画的に行うことができるか)	支援なし	
		一部支援	
		全面支援	
特記 及び 評価等			

共同研究施設調査（買い物・通院）

（全国盲重複障害者福祉施設研究協議会）

【調査V-A】重複障害者の自己活動における支援度チェック

施設名	調査日	平成 年 月 日	利用者調査No.
光道園・ライトホープセンター 光道園・ライフトレーニングセンター ジョイフルセンター 彦根学園	利用者		調査者

事例:目的活動【買物】

行動段階	支援チェック項目	支援度 チェック集計	支援に係わる状態
計画段階	①購入品の計画性 (何を購入したいのか)	支援なし 1	
		一部支援 4	<ul style="list-style-type: none"> ・職員がアドバイスすることもある。 ・いろいろ購入品の要求はあるが当日になると忘れるため記録。 ・日用品などについては計画できる。 ・自分の欲しいものは伝えることができる。
		全面支援 11	<ul style="list-style-type: none"> ・要求がないので援助者が必要なものを購入、補充する。 ・持っているのに買ってしまう。 ・購入したいという思いが全くなく、援助者が全てを行う。 ・不足品があれば職員が判断し購入。 ・あらゆる買い物考えた場合、全面支援を要する。
	②購入日、購入先、行動等計画性 (いつ、どこで、だれに、どうして)	支援なし 0	
		一部支援 1	<ul style="list-style-type: none"> ・付添い職員または家族と話し合い決定する。
		全面支援 15	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が買い物に行く日を決めている。 ・班ごとに行っており、職員が計画をしている。 ・付添い職員と話し合い、決定する。 ・単独では困難。援助者のサポートにより一緒に計画する。 ・全て準備しなければ行動がとれない。
	③金銭の計画性 (幾ら位の商品、持ち金は)	支援なし 1	
		一部支援 2	<ul style="list-style-type: none"> ・値段は全て援助者が本人に伝えている。 ・小遣いについては本人の自信がなく職員が管理している。
		全面支援 13	<ul style="list-style-type: none"> ・金銭に関し、興味・関心はあるものの金銭の価値は理解していないように思われる。 ・金銭の管理は全て職員が行っている。 ・お金の意味を理解していない。 ・1週間で飲み物4本、480円の手持ち金で購入できる程度。ほぼ全面介助を要する。
	④容姿の計画性 (服装、身嗜み等)	支援なし 0	
		一部支援 5	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行時には職員がコーディネートしている。 ・季節はずれの服を着ていることがある。 ・ひげのそり忘れが多いため言葉かけをしている。 ・外出着を選び出して着ることはない。援助者のサポートが必要。 ・視覚障害のため最終確認を要す。
		全面支援 11	<ul style="list-style-type: none"> ・援助者が用意した服を着てもらう。 ・外出着の意識以前に汚れ物を自分から着替えることが出来ない。 ・寒暖の調節、清潔などの配慮は職員が行う。

移 動	⑤歩行、交通機関の利用 (目的地移動、交通機関利用等)	支援なし	0					
		一部支援	1	・練習すれば交通機関を利用して一人で移動できる。				
		全面支援	15	・タクシーなどを利用し、職員と一緒に移動している。				
				・マイクロバスなど全て職員が手配している。				
・視覚障害、肢体障害のため自力では不可能。 ・肢体障害のため、介護タクシー利用。 ・全盲のため、全面的に手引きが必要。								
購 入	⑥店内の移動 (販売場所の確認と移動)	支援なし	0					
		一部支援	1					
		全面支援	15	・全盲のため、全面的に手引きが必要。 ・販売場所がわからず、全面支援を要する。 ・行きたい場所、行くべき場所も理解していない。 ・慣れない場所のため誘導を要する。 ・車椅子を使用している。				
				⑦購入品の選定 (目的品の発見、決定)	一部支援	6	・品物の説明を聞き、自分で決めている。 ・選択肢が多いと迷い、最終的には職員に決めて欲しいと訴える。 言葉による説明、または手に取ってもらい決定する。 ・自ら単独で商品を選ぶことは困難。援助者のサポートで決める。 ・分量、金額などを判断して選択することは難しい。	
							全面支援	10
	⑧支払い (金銭の把握と精算)							
		全面支援	13	・1000円程度まで。 ・支払は経験として行っている。 ・物との交換性は理解できている。 ・援助者が全面的に行っている。				
	⑨帰宅後の後始末 (服装、手持金確認、整理等)			一部支援	8	・服装の後始末は自分でしているが、お金の管理は職員がしている ・冷蔵しなければならないものを常温で保管する。 ・レシート金額の確認など援助を要する。 ・帰園後、外出着から普段着に着替え、洗濯に出すことはできる。 ・金銭の管理は困難なため職員が行っている。 ・言葉かけと具体的指示が必要。手持ち金の確認は出来ない。		
						全面支援	8	・服装、手持金確認は職員任せ。但し品物に関しては自分がわかりやすいように整理できる。 言葉かけにより着替えをし、援助者が洗濯をする。 ・身体機能上、衣服着脱は可能だが、全て職員が手渡し。

	⑩購入品の生活利用 (実用的な使用が可能か)	支援なし	1	
		一部支援	6	・職員が提案するときもある。
				・使用できるように手助けが必要。
				・全てにおいて数が多くなければ安心できず、買い過ぎの傾向あり。
				・購入した衣類は身につけている。
		全面支援	9	・言葉かけによって行える。
				・実用的な使用と考えると全面的な支援が必要。
				・本人希望のハンドクリームを購入したものの、毎日使うことはなく、 放置してあったことがあり、実用的な使用は難しいと思われる。
				・掃除、洗濯など全て職員が行っている。
		特記	購入したお菓子については一度に食べてしまうため預かっているが、そのお菓子があることを伝えても取りに来ない。 次の買い物では前回に買ったものが残っているのに購入してしまう。	
衣類については破れていても新しいものと交換しない。また破れていることについて訴えることもない。				
視覚障害があるため、買い物の希望、欲求はあっても、行動は理解されておらず全般にわたって支援を要する。				
視覚障害と肢体障害(杖歩行または車椅子使用)ではあるが金銭的理解が高く、自己選択・自己決定ができる。				
視覚障害と知的障害を併せ持つため、自己選択・自己決定が出来ず、全項目について全面支援を要する。				
視覚障害、知的障害、肢体障害を併せ持つため、かなりの支援を要する。				
必要なものの理解不可能。買い物、金銭の理解不可能。				
買い物などについての理解はなく、全面的な支援が必要。生活全般に支援を要する。				
弱視、知的障害A、肢体不自由。言葉はあるがあらたまったときに会話として成立しない。				
全盲、知的障害A、てんかん。言葉はあるが会話として成立しない。				
全盲、知的障害A。言葉はあるが聴き取りにくい。				

【調査V-B】重複障害者の自己活動における支援度チェック

施設名	調査日	平成 年 月 日	利用者調査No.	
光道園・ライトホープセンター 光道園・ライフトレーニングセンター ジョイフルセンター 彦根学園	利用者		調査者	

事例:目的活動【通院】

行動段階	支援チェック項目	支援度 チェック集計		支援に係わる状態	
		支援なし	0		
計画段階	①身体の変調を意識できるか (各部位の理解ができているか)	支援なし	0		
		一部支援	7	・過去の身体状況と比較し、変調に敏感になり過ぎる傾向がある。	
				・外傷の、程度の認識が困難。	
				・職員が尋ねたときに部位を押さえたりする。	
		全面支援	9	・変調は意識できるが、部位の理解は出来ていない。	
				・我慢してしまうことが多く、変調に注意を要する。	
	・大まかに体の部位は理解しているが、変調を意識できるかは不明。 ・変調を訴えられない。表情や行動、食欲の有無で援助者が判断。 ・本人の機嫌や様子から援助者が察する。				
	②具合の悪いことを誰かに伝える (いつ、どこで、だれに、どうして)	支援なし	0		
		一部支援	7	・自ら訴えることはあまりなく、具合が悪そうなときに尋ねると言う。	
				・訴えることは充分できるが、食事を制限されても理解が遅い。	
				・的確に病状を説明できないため様子観察を要する。	
				・職員がどこか痛むと尋ねた時にうなずき不調を伝えることができる また不調のときは自分から静かに横になっていることがある。	
・鼻血など出血があったとき紙や衣類でぬぐうことができる。					
全面支援	9	・我慢してしまい、問いかけるまで訴えないので全面支援が必要。 ・思いを素直に伝えることができず、援助者が本人の思いを大切にしながらコミュニケーションを図り、聞き出す必要がある。 ・全くできず、援助者の細やかな観察が必要。 ・自ら言葉で痛みを訴えることはできないため、状況観察により職員が判断。			
③病院に行く等、指示を理解する (病院、静養、待機の意味を理解)	支援なし	3			
	一部支援	6	・自ら計画することはできないが、指示には素直に従える。		
			・医者にかかる、薬を飲むなどの判断は難しい。		
			・熱が少しあっても休まず、普段の動きをすることがある。		
	全面支援	7	・看護師や担当と数回話をし、1対1の付添いが必要。 ・看護師が行っている。 ・病院に行くというサインは伝わるが、外出ができるので嬉しいという 感覚がある。熱があっても自室で寝ていられないこともある。		
			④通院の準備等の計画性	支援なし	0
一部支援				2	・最終確認を要する。 ・手帳、保険証など職員管理。身だしなみは自立。 ・通院時の準備は全て援助者が準備する。

	(金銭、手帳、保険証、身嗜み等)	全面支援	14	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師が通院日を決め、服などは職員で準備する。 ・職員が準備、計画をし、本人に伝えている。
移 動	⑤軽度時、歩行、交通機関の利用 (目的地移動、交通機関利用等)	支援なし	0	
		一部支援	1	・練習すれば交通機関を利用して一人で移動できる。
		全面支援	15	<ul style="list-style-type: none"> ・単独歩行不可能なため、常時手引きが必要。 ・単独での目的地までの歩行が不可能なため、手引きが必要。 ・公用車利用。歩行できるため、どこへでも行ってしまう恐れがあり、必ず職員が付き添う。 ・施設外は手引きをしないと歩けない。 ・全盲のため手引きが必要。
病 院 内	⑥病院内の移動と待機 (受付等場所確認と移動・待機)	支援なし	0	
		一部支援	1	・一人で待つことができ、順番がくれば診察室に入ることができる。
		全面支援	15	<ul style="list-style-type: none"> ・全盲のため職員が手引きしないと困難。 ・必ず職員が付き添う。待ち時間が長いと泣き、ぐずることもある。 ・慣れない場所のため、誘導を要する。 ・病院内の移動も手引きが必要。援助者の指示により一人で待機することができ、また静かに待つことができる。
	⑦診察時の反応 (診察時の受け答えと理解)	支援なし	0	
		一部支援	5	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いは伝えるが、医師の指示は十分理解していない。 ・受け答えができ、診察にも比較的落ち着いて対応できる。
		全面支援	11	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が伝えるが、理解されていないように思われる。 ・簡単な会話はできるが、医療に関する話しや治療内容については理解することが難しく、援助者が付き添って医師の説明を聞く。 ・言葉の理解がなく、援助者の全面支援。
	⑧支払い (金銭の把握と精算、薬の理解)	支援なし	0	
		一部支援	2	・薬の変更は事細かに説明しないと理解できない。
		全面支援	14	<ul style="list-style-type: none"> ・支払は全面的に援助者が行う。薬については健康の改善のために服用したり、塗布するものであることは理解している。 ・支払は経験として行っている。つり銭の管理、薬の意味などは理解できていない。 ・本人は不可能であるため、援助者が行う。 ・看護師が行う。
	生活管理	⑨帰宅後の後始末 (服装、手持金確認、整理等)	支援なし	1
一部支援			6	<ul style="list-style-type: none"> ・声かけと具体的指示が必要。手持ち金の確認はできない。 ・クリーニング、お金の精算などは職員が行っている。 ・お金の整理は職員が行っている。
全面支援			9	<ul style="list-style-type: none"> ・声かけて着替えし、援助者が洗濯。 ・全て援助者が行っている。 ・帰園した際、外出着から普段着に着替え洗濯に出すことができる。
⑩服薬、治療、回復への理解		支援なし	1	
		一部支援	2	<ul style="list-style-type: none"> ・治療に関して自分の都合のよいように考える傾向あり。 ・自分から必要なときに依頼し、自ら服用することができる。必要数を渡し、飲み残しがないかを見守る必要がある。
				・本人単独で行うことが困難なため、看護師・援助者が全面的に支